

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち		
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします		
施策	3	多様な世代が暮らす新しいまちをつくります	担当部(統括部)	都市整備部

【実現している姿】

目標	土地区画整理事業が完了し、良好な都市型居住空間が形成されています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	防災機能を備えた都市公園や緑地が整備され、市民の憩いの場として活用されています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標											
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
吹田操車場跡地まちづくり事業の進捗率	目標	—	—	25%	41%	66%	84%	100%	100%	100%	100%
	実績	5%	11%	25%	39%	65%					
吹田操車場跡地の地区内人口	目標	—	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2,000人
	実績	0人	0人	0人	0人	0人					
対象地域内で整備された公園・緑地の面積	目標	—	—	0㎡	0㎡	10,500㎡	10,500㎡	15,000㎡	15,000㎡	15,000㎡	15,000㎡
	実績	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎土地区画整理事業による基盤整備						
新たな居住空間の創出と周辺地区の交通利便性の向上を図る基盤整備を進めます。						
平成27年度事業 ◇吹田操車場跡地まちづくり事業178,600千円(都市計画課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度		後期終了年度 平成29年度
計画	道路・地下埋設物等の整備	道路・街区公園等の整備	道路等基盤整備の推進	基盤整備完了、供用開始	—	
取組実績	道路などの基盤整備工事を実施した。					
成果	平成27年度末事業完成に向け、着実な工事の進捗を図ることができた。					
次年度課題	基盤整備工事を引き続き実施していくことが必要。					

◎都市公園の整備						
災害時の一時避難地となる防災機能を備えた都市公園の整備を進めます。						
平成27年度事業 ◇吹田操車場跡地まちづくり事業178,600千円(都市計画課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度		後期終了年度 平成29年度
計画	公園施設等の整備	遊具・植栽等の整備	維持管理	供用開始	—	
取組実績	公園整備工事の実施を行った。					
成果	平成26年度末事業完成に向け、着実な工事の進捗を図ることができた。					
次年度課題	引き続き、事業完了に向けた整備を進めていく必要がある。					

◎都市型居住空間の形成						
緑豊かな居住環境を持つ都市型居住空間の形成を図ります。						
平成27年度事業	◇吹田操車場跡地まちづくり事業178,600千円(都市計画課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	宅地の売却に向けた関係者間協議・検討	地区計画の策定手続、宅地の売却に向けた関係者間協議・検討	地区計画・まちづくりガイドラインに沿った開発の誘導	地区計画・まちづくりガイドラインに沿った開発の誘導	地区計画・まちづくりガイドラインに沿った開発の誘導	建築工事完了
取組実績	宅地売却に向けた関係者間協議、下水処理場跡地利用に関する関係者間協議、及び景観形成地区指定の方向性について、取り組みを進めた。					
成果	宅地の売却に向けて、関係者間協議を実施できた。また、具体的な課題等を把握、確認することができた。					
次年度課題	宅地の売却に向けた関係者間協議を進め、今後の課題解決やまちづくりに向けての方針を決定していく必要がある。					

◎周辺のまちづくり						
隣接する正雀下水処理場の機能停止に合わせ、クリーンセンターも含めた跡地利用を検討し、周辺の一體的なまちづくりを進めます。						
平成27年度事業	◇吹田操車場跡地まちづくり事業178,600千円(都市計画課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	下水処理場跡地利用方針の決定	跡地利用方針に沿った土地利用の誘導	跡地利用方針に沿った土地利用の誘導	跡地利用方針に沿った土地利用の誘導	跡地利用方針に沿った土地利用の誘導	
取組実績	下水処理場跡地利用について関係機関との協議を実施した。					
成果	下水処理場跡地に関連する周辺整備について関係機関と協議し、関係者間の合意形成ができた。					
次年度課題	下水処理場跡地利用について、まちづくりガイドラインや地区計画の検討を進めていくことが必要である。					

### 【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

居住機能を中心とした複合的な機能を持った土地利用						
様々な世代の生活ニーズや新しいライフスタイルを支える居住機能をまちの中心的な機能として位置付け、様々な生活サービスを提供する生活利便機能、人々が集い、自然とのふれあいを感じる交流機能、防災機能などを適切に配置し、まち全体で複合的な機能を持った土地利用を図ります。						
平成27年度事業	◇吹田操車場跡地まちづくり事業178,600千円(都市計画課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	防災機能を持つ都市公園や緑地などを整備し、新しい都市型居住地区として整備を推進	緑地などを整備し、新しい都市型居住地区として整備を推進	土地区画整理事業完了、地区計画等による土地利用の誘導	地区計画等による土地利用の誘導	地区計画等による土地利用の誘導	地区計画等による土地利用の誘導
取組実績	都市公園や緑地などを整備し、引き続き新しい都市型居住地区として整備の推進を図った。					
成果	都市公園や緑地などの整備を進めたことにより、魅力的な市街地整備の推進を図ることができた。					
次年度課題	土地区画整理事業による都市基盤整備や都市公園整備を進め、魅力的な市街地整備を推進することが必要である。					